

5. 交通ネットワーク計画

5-1 道路網計画（都市圏の骨格となる道路ネットワーク）

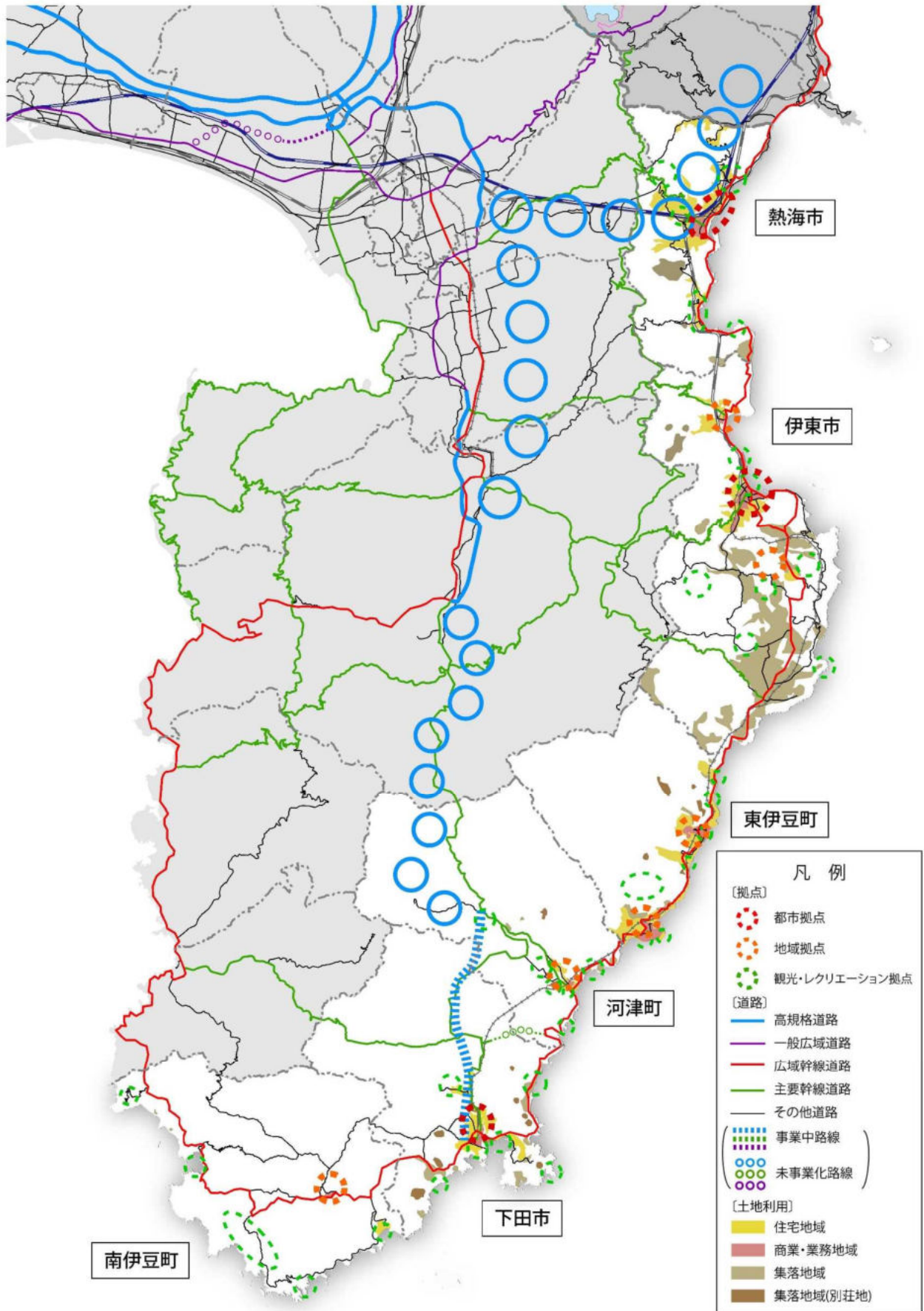
□ 都市圏内外の広域的な交流の促進や、都市拠点と地域生活拠点間の交通需要に対応した、走行性の高い「骨格幹線道路網」を形成します。

【道路の配置と機能】

都市圏軸	道路の分類		配置	機能
国土軸	広域道路	高規格道路	高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成する道路で、求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路	
		一般広域道路※	広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路で、求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路（高規格道路を除く）	
都市圏連携軸	広域幹線道路		広域道路を補完 都市圏間を連絡する道路を配置	自動車の交通機能を重視 市街地内ではアクセス機能や歩行者、自転車等の交通機能を確保
都市間連携軸	主要幹線道路		広域幹線道路を補完 中心部では通過交通を排除し、中心部に向かう交通の分散を図るための道路を配置	基幹的公共交通軸となる路線は、円滑な自動車走行に配慮したうえで、バス走行空間等を確保
その他	その他道路		主要幹線道路を補完 近隣住区を結ぶとともに、住区の外郭を形成する道路を配置	自動車の交通機能、アクセス機能、歩行者、自転車等の交通機能を確保

※伊豆東海岸都市圏においては、該当路線なし

【道路ネットワーク】



5-2 公共交通計画（都市圏の基幹となる交通計画ネットワーク）

- 中心市街地と地域生活拠点や生活拠点とを結び、定時性・速達性・利用状況に応じた輸送力が確保された「基幹的な公共交通」を形成します。
- また、基幹的な公共交通の起終点となる地域生活拠点や生活拠点には、郊外部からアクセスする支線バスやコミュニティバス、デマンド型交通などを接続させることで、都市圏全体に公共交通サービスが行き届くネットワークを形成します。
- 地域の拠点と周辺集落や観光地等を結ぶ路線における自動運転車の活用に向けた研究を進めます。

【公共交通の配置と機能】

都市圏軸	公共交通の種類	配置	役割・機能
国土軸	新幹線 高速バス	東海道新幹線 高速道路	広域レベルの交流・連携を支えるため、高いサービスレベル（定時性、速達性、輸送量）を確保
都市圏連携軸	在来鉄道 新交通等	JR東海道本線 JR伊東線 伊豆急行線	都市拠点間を結ぶため、高いサービスレベル（定時性、速達性、輸送量）を確保
	基幹バス	都市拠点間を連絡し、居住誘導を図る交通軸として、基幹的なバス路線を配置	主要な通勤、私用交通を支えるため、高いサービスレベル（定時性、速達性、輸送量）を確保
都市間連携軸	幹線バス	都市拠点と地域拠点を連絡し、居住誘導（人口維持）を図る交通軸として、幹線バス路線を配置	運行便数や定時性などのサービスレベルを確保
その他	支線バス	駅や基幹バス・幹線バス結節点から郊外部や集落の拠点を連絡するバス路線を配置	生活に必要なサービスレベルを確保 観光のラストマイルの移動を支援
	その他路線バス コミュニティバス 乗合タクシー デマンド型交通 自動運転車	地域を巡回するコミュニティバスや自宅とまちなかや交通結節点を結ぶデマンド型交通等を配置	

【公共交通ネットワーク】

